

ひしもにた

議会だより

発行：群馬県下仁田町議会



少年野球教室

あなたと議会を結ぶ

確かな情報と信頼



主な 内容

第一回定例会	2~3
一般質問	5~7
委員会報告	8~9
広域圏NEWS	9
審議結果	10

平成23年度一般会計予算 52億8,200万円スタート

厳しい財政状況の中、保健・福祉・教育を充実

第一回定例会

平成23年第一回定例会は、3月11日から22日までの期間、開催されました。

今回の定例会は、平成23年度当初予算をはじめ、条例の一部改正や平成22年度補正予算など39件が提案されいずれも原案どおり可決・承認されました。また、陳情1件は継続審査となりました。

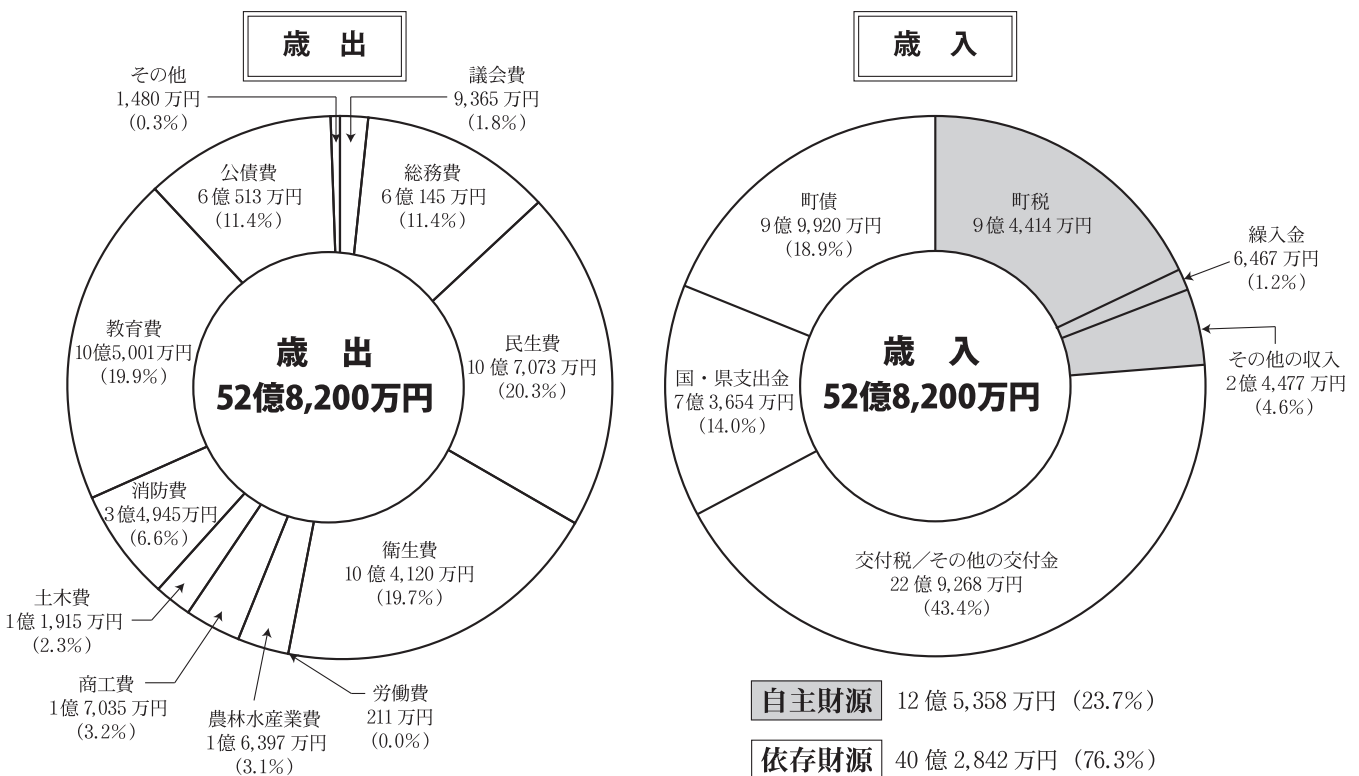
歳入

町税は9億4,414万で前年度対比4%の減です。地方交付税が20億8千万円、国庫支出金4億3,933万円、県支出金3億3,261万円、町債9億9,920万円などが主な財源です。

歳出

民生費は10億7,073万円で前年度対比3.2%の増、子ども手当も流動的ですが1億4,822万円を計上、衛生費10億4,120万円で前年度対比20.5%の増は、厚生病院建設の負担金や予防接種等疾病予防事業。教育費10億5,001万円で14.5%の減などが主なものです。

平成23年度 一般会計予算の内訳



平成 23 年度の主な事業

地域づくり支援事業（地域活性化事業補助）	310万円
旅券（パスポート）発給事務（10月7日から実施）	110万円
防災行政無線デジタル対応事業	1億3003万円
下仁田小学校校舎建設事業	5億8352万円
感染症予防（子宮頸がん、ヒブ、肺炎球菌、インフルエンザ）	2368万円
文化財調査保護（荒船風穴）	4537万円

平成 23 年度 特別会計（5事業）及び公営企業会計予算 26 億 1,164 万円

（単位：万円）

会 計 名		平成 23 年度 当初予算額	平成 22 年度 当初予算額	比 較 額	伸率（%）	
特別会計	国民健康保険	114,268	122,231	△ 7,963	△ 6.5	
	老人保健	0	21	△ 2,389	△ 100.0	
	後期高齢者医療	13,048	12,385	663	5.3	
	介護保険	113,520	111,110	2,410	2.2	
	簡易水道事業	13,475	9,621	3,854	40.1	
	浄化槽整備事業	6,853	7,932	△ 1,079	△ 13.6	
公営企業会計	水道事業	収益的収入	17,815	17,926	△ 112	△ 0.6
		収益的支出	17,614	17,348	267	1.5
		資本的収入	7,071	7,870	△ 799	△ 10.2
		資本的支出	13,905	15,082	△ 1,177	△ 7.8
	ガス事業	収益的収入	15,081	12,510	2,571	20.6
		収益的支出	15,113	13,116	1,997	15.2
		資本的収入	1,750	1,515	235	15.5
		資本的支出	3,807	3,947	△ 140	△ 3.5

国民健康保険事業

歳入では63・7%が国・県などの交付金で、被保険者からの負担である保険税が2億6074万円。歳出では、66・5%を占める保険給付費の7億5960万円が主なものです。

後期高齢者医療事業

歳入の主なものは保険料7932万円。繰入金5063万円などです。

歳出の主なものは後期高齢者医療広域連合納付金1億2732万円が主なものです。

介護保険事業

歳入では70・3%が国県などの交付金で、保険料1億6391万円、繰入金1億7267万円が主なものです。歳出では、保険給付費の10億9421万円、地域支援事業費の2680万円が主なものです。

簡易水道事業

歳入では水道事業収入が6685万円、49・6%、で国庫支出金、諸収入、起債等が主なものです。歳出では、水道維持補修等が主なものです。

浄化槽整備事業

歳入では44%が国庫などの支出金で3015万円、町債が1940万円。歳出では、浄化槽事業費が6451万円、公債費が352万円が主なものです。

公営企業会計

◎水道事業会計

給水戸数は、前年より54減少し、2379戸、年間給水量は72万7200立方メートルで前年度対比0・3%の増です。

水道事業収益は、1億7815万円、前年度対比0・1%の減、支出では水道事業費用は1億7614万円、前年度対比1・2%の増

これとは別に老朽管敷設替え工事など3370万円を計上しています。

◎ガス事業会計

供給戸数は、前年より41減少し、1424戸、年間供給量は95万6700立方メートルで前年度対比8・4%の増です。

ガス事業収益は、1億5081万円、前年度対比20・6%の増、支出ではガス事業費用は1億5113万円、前年度対比24・7%の増

これとは別に老朽管敷設替え工事など3026万円を計上しています。

補正予算 3月

平成22年度 各会計別補正予算の状況

(万円未満は四捨五入)

会計名	補正額	補正後の予算
一般会計	△9,609万円	57億3,911万円
国民健康保険特別会計	△7,856万円	11億4,753万円
後期高齢者医療特別会計	△197万円	1億2,241万円
介護保険特別会計	△48万円	11億1,563万円
簡易水道事業特別会計	52万円	1億1,181万円
浄化槽整備事業特別会計	△2,351万円	5,511万円
水道事業会計	収益的収入	113万円
	収益的支出	47万円
	資本的収入	△224万円
	資本的支出	△356万円
ガス事業会計	収益的収入	574万円
	収益的支出	478万円
	資本的収入	△10万円
	資本的支出	△209万円

反対討論

佐藤 公夫議員

3年間続けての赤字予算の提案は賛成できない。今後も赤字予算を続けていくことになる。供給エリア、約1450戸の安心安全なガス供給ができるのかと、早急にガス企業会計の改善をしない限り、一般企業でいけば、経営がなかなか継続できない状況になりますので反対します。

賛成討論

千野 榮治議員

町がガスを引いてかなり長い年月がかかっています。莫大な費用をかけて整備した施設です。今の下仁田の状況からみて、戸数も減少し、色々な形で若干の赤字が3年連続して出ています。我々もバックアップするので、何とかして、赤字の解消に努力していただき、ガス事業を立ち直らせていくことを期待し、賛成します。

平成23年度

第1回臨時会

2月18日

○専決処分の承認を求めることについて

平成22年度下仁田町一般会計補正予算歳入・歳出を6921万円増額し、総額58億3519万円とした。

歳入は、国庫支出金(きめ細やかな交付金等)

歳出は、土木費で3900万円(道路改良5路線)教育費で2586万円(ジオパーク運営等)商工費で210万円、総務費で225万円です。

全会一致

○平成22年度伊勢山下町営住宅建設工事請負契約の変更について

全会一致

○中学校体育館改修工事請負契約の変更について

賛成多数

○平成22年度下仁田町多目的運動場整備工事請負契約の変更について

全会一致

○下仁田町立下仁田小学校校舎建工事請負契約の変更について

賛否同数

議長採決により可決

町政を問う

一般質問

佐藤 勇二議員



Q TPPがコンニャクに与える影響は

A 90%と考える

議員 先日菅首相がTPPに参加したいとの発言があり、日本の農業に大きな影響があり、参加した場合の農業に与える影響と町の特産品のコンニャクに与える影響は。

農林建設課長 県の発表によると、県の農業総生産は2207億円で、その影響額は780億円、割合は35%。特に影響を大きく受けるのは、乳製品が71%、コンニャクについては、90%と言われています。

議員 農業以外にも、対象があると聞かれます。農林建設課長 対象については、工業品、繊維、衣

料品、電気通信、金融など24項目に及ぶ、その中でも労働、人の移動の自由化であります。多くの低賃金労働者が国内に入り、今まで以上に深刻な雇用問題が生じると思

議員 対応策は。

農林建設課長 コンニャクについては、産地の中国、ミャンマー、インドネシアが参加していないので、すぐに影響は出ないものの、他の地域で栽培して、日本に入る事が心配される。また、対応策としては、健康食品として認められているコンニャクをこれを機に世界各国に売り込み、国際的なブランド化を計り、海外進出も対策の一つと考えられる。

議員 国としても、良く審議を重ね、農家のセイフティーネットもしっかり構築した上で、納得のいく方法を進めてもらいたい。



Q サルの頭数と群れは

A 2群で69頭です

議員 サルの頭数は減少していると言いますが、被害がなかなか減らない、思い切った駆除はできないか。

農林建設課長 サルは、捕獲処分など97頭減少した。被害報告は、多々あ

三浦 勲議員



Q 中高年の生きがいと町の活性化は

A 意見を多く取り入れ町の活性化につなげたい

議員 老人クラブの現状について。

保健環境課長 会員は60歳からで60代9%、70代50%、80代36%、90代5%です。

議員 60代の会員が9%と

るが、群れの全滅をさせることは無理です。毎年群れの15%から20%の駆除を行っている。仮に全滅させたとしても、他の地域から新しい群れが必ず入ってくる。

議員 住民感情からすれば厄介なサルは全て駆除が夢である。富岡市のような追い払い対策や今後の数の減少をお願いする。

少ないのではないか。その人たちは何をしているのか。

保健環境課長 特に把握はしていないが趣味の会や旅行その他だと思います。

議員 町全体の老人クラブ数は。

保健環境課長 18年度は24、19年度は22、20年度は18、21年度は14、22年度は7と減少しております。

議員 この5年間に3分の1に減少した原因はなにか。

保健環境課長 会長を始め役員になりたくない、甲辞を読むのが嫌だ、などの理由です。町でもいろいろの活動通じて単位クラブに入るよう進めおり

ますが加入していただけないのが現状です。

議員 活動内容はどのような事業がありますか。

保健環境課長 旅行、花見、新年会、忘年会、グラウンドゴルフ、ゲートボール、清掃活動、廃品回収等20回ぐらい活動しています。

議員 これから益々高齢化になる地区に対して、60代の人たちが役員をするようにして、思いやりのある老人会ができるよう、指導していただきたい。

議員 シルバー人材の現状は。

商工観光課長 登録者数59名、平均年齢70歳、作業内容は庭木の剪定、草刈、除草作業、施設管理、ネギ植え、ネギ堀取り、ペンキ塗り等です。

議員 一般の仕事と公共の仕事の割合は。

商工観光課長 21年度の総件数299件、町からの依頼件数は105件ぐらいです。

議員 観光を推進する町にとって、経験豊かな中高年を活用し町の活性化に繋げて頂きたい。

高瀬 政信議員



Q TPP対策は

A 健康食品で海外に売り込む指導

議員 今後TPPにより自由貿易が進むと予測される。町は、コンニャク農家に支援対策等考えているか。
町長 今後、研修会や講習会等々行う中でコンニャクは健康食品としてロシアを始め国際的に広く認められてきていますので貿易の自由化を機に積極的に海外に売り込みを図るため、生産農家やコンニャク生産にかかわる企業等のご協力をいただき、下仁田町として発信していきたいと思えます。

Q 農業補助は

A 制度や事業がある

議員 野菜農家へのパイプハウスの支援はあるか。

農林建設課長 産地の生産基盤への強化を図るため、群馬県補助事業として、野菜王国群馬総合対策事業があります。

議員 下仁田町は農業に従事する人たちが高齢者になり、農業後継者がいないし、空き農地に対する現状はどのようになっているか。

農林建設課長 直ちに再生可能な農地は24畝あります。しかし既に山林原野化した農地が90畝あります。

議員 農業を、やっていきたい人たちが、入ってきた場合の補助とかあるのか。

農林建設課長 耕作放棄地再生対策事業と、農業者所得補償制度についても交付金制度があります。

議員 補助金があるということですが、補助率の具体的な内容は。

農林建設課長 受益者が3戸以上で、受益者の施設導入面積が30坪以上で、助成内容としては鉄骨パイプハウスです。施設と一体的に整備することが対象になります。補助率は10分の3で市町村が5%上乗せしています。

Q 地籍調査は

A 現在はしていません

議員 現在の地籍調査はいつから始まっているのか。

農林建設課長 国土調査法が昭和26年にできまして、それに基づき地籍調査が始まっています。

議員 町も着手していただきたい。

町長 今の経済動向等々加味しながら検討課題だと思います。

議員 前向きに検討していただきたいと思えます。

矢嶋 榮一議員



Q 廃校に伴う用地や校舎等の利用及び書籍等の保護は

A 利用は地域等の意見尊重、データ化して資料室等で保管していく

議員 校舎や敷地の利用はどのように考えるのか。

教育課長 各小学校の体育館は敬老会等で使用している。今後のことは区長や地域の意見を尊重しながら決めたい。

議員 卒業生の思い出ある歴史的書籍はどう保管するのか。

教育課長 各小学校長に校内資料、書籍の取り扱いについて文書で散逸防止をお願いしている。旧青倉小では、閉校前に資料をデータ化して資料室や校長室の金庫に保管している。平成23年度末に統廃合となる各小学校の

資料も同様に保存していく予定です。

議員 資料は閲覧できるようになるのか。

教育課長 今はできないが、資料館等ができたときは閲覧が可能になると思う。

議員 旧西牧中は、危険校舎で立ち入り禁止だが、取り壊す考えはあるのか。

佐藤 公夫議員



Q 23年度予防医療の取組は

A 子育て支援やワクチン接種等の予算を計上した

議員 この一年間、60代で前立腺がんで亡くなられた方が、町内に3人いました。町の検診は2年に1回、60歳以上が対象ですが、予防医療の視点が

として、統合を進めているが、体育館は地域の方々が使っている。校舎は取り壊しに数千万円の費用がかかる、時期と利用方法も考えて対策をとっていききたい。

議員 危険校舎の放置は良くない。早急に解体するなりして、安全に利用できる状態にしていきたい。

町長 少子化の大きな問題から50歳代からが望ましい。ちなみに私は、58歳で前立腺がんの開腹手術をしている。対象年齢を変更の意思はないか。

町長 指摘を強く受け止め検討したい。

議員 高齢者予防医療のために、肺炎球菌ワクチンは予算化されたか。

保健環境課長 新規事業として、提案いただき予算化したしました。高齢者の重症化リスクが高いことを踏まえ、対象年齢70歳以上、二分の一自己負担3,500円で接種できます。

議員 母体からの免疫にも限界がある。少子化対策と合わせて、ヒブ、小児

肺炎球菌ワクチン接種は
予算化されたか。

保健環境課長 新規事業として、小児用肺炎球菌ワクチン全額公費負担、対象年齢は0歳から5歳まで、任意であり理解の上接種して頂きたい。また、ヒブワクチンも新規事業で、全額公費負担として実施したい。

原 秀男議員



平成23年度

一般会計予算案について

Q 町税の減収理由は

A 課税者の減少や不況等が影響

議員 現在下仁田町は少子化がどんどん進んでいきます。それに逆行するかのようには大きな学校建設を始め、各種の大きな事業が行われております。予算

議員 子宮頸がんワクチンを含め、これらのワクチンは、任意接種であるから、よく説明し納得して頂いた上で実施されたい。

議員 子宮頸がん検診の講演会、20代、30代、40代の参加が少ないようだが、これからの保健センターの指導に期待します。

案を見ますと町税が大分減少予定とのことですが、

住民税務課長 課税者数の減少と、不況により個人所得が落ちています。法人町民税の増額も見込めません。固定資産税についても土地の下落が続いており、これも回復の兆しはありません。

議員 町長はこの状況をどう感じておられますか。
町長 全庁を挙げて税の拡大を計りたいと思っております。

Q 財政調整基金(財調)の取り崩し理由は

A 交付税が減少したため

議員 今年度は財調を取り崩

すということですが財調の現状はどうなっていますか。

企画財政課長 他町村と比較しますと、県内の町村平均金額にとりま及びません。更に、この数年大企業のために、予算規模が通常年度よりも10億円も増加しております。一方歳入につきましては、人口減少により、普通交付税が大分減少しております。よって取り崩さざるを得ません。

議員 この点に関して町長のお考えは。

町長 経常収支比率の問題も含め、財政の硬直化が進んでおり、改善していかなければならないと認識しております。更なる経費削減に等に取り組みます。

Q 町の将来的な財政について

A 行財政改革を一層進めたい

議員 小学校校舎、中学校体育館、多目的運動場、公営住宅などの建設による地方債の返済計画はど

のようになりますか。
企画財政課長 すべての返済が終わるのは平成41年度から47年度になります。

議員 大変な長期間ですが、国から地方交付税が順調にきての話だと思えます。町として打てる対策は。

佐藤 博議員



Q 学校におけるいじめの実態は

A ありません

議員 不登校に占めるいじめの実態は。

教育長 桐生で痛ましい事件が発生した後、県教育委員会が調査を実施しました。この時点では3件が認知されていましたが、すでに解決しています。

議員 給食センターの状況について。

教育課長 学校給食共同調理場は昭和58年に建設し、28年が経過しておりますが、特に不都合という話は聞いておらず支障なく業務ができています。状況です。

議員 「ご飯が冷たい」との苦情を聞くが。

教育課長 高崎のパンセンターに配送までを委託している。
議員 来年には小学校も一つになる、これを契機に近くに新築移転の検討は。町長 学校給食調理場の位置を小中学校の敷地内に変更してどうかという提言を平成20年7月に教育委員会からいただいております。今後、センターの新築移転、委託方式も含め検討していきたい。

議員 下仁田町財産取得調査委員会から調査結果の報告を受けたか。

総務課長 一応中間報告はしてあります。
議員 どこへしたのか。
総務課長 町長あてに出してあります。
議員 最終報告か。
総務課長 書類が新たに発

見されたり等々の可能性もあり、現在までの中間報告です。

議員 随分と時間ばかり経っている「特命機構を持つて究明する。全て合わなければ究明できない。町の代表としてやっていく。」と言いつつ、町長自身は何も対処や調査をしていない。

町長 ご指摘のように調査、あるいは真実を調べると言うことでありますが、現状では手詰まりという状況の報告を受けております。

議員 町長が直接調査するという解釈でよろしいですね。
町長 私人の時間では制約があります。委員会に申し添えます。

議員 結局、委員会に振るといふことか。提出から3か月が経過しても何故報告しなかったのか。

総務課長 報告しないのは、委員会としても歯がゆいし、皆さんも歯がゆいと思います。進展がなかったということで、報告までに至っていないと理解して下さい。

経済常任委員会

陳情1件を審査

○「公契約基本法」の制定を求める意見書採択について

委員

商工観光課長 公契約基本法とは、国県及び市町村等の公共機関との契約に

用いた算定労務費を労働者への支払い義務として受注者に課する契約であります。

今日の労働環境からみると使用者の買い手市場であり、基本法の制定を求めることは理解できません。

が、現在の自由競争経済主義の観点から、発注者、受注者へも調査・研究が必要ではないか。

以上慎重審査の結果、継続審査とすべきものと決しました。

予算関連

全員でチェック

議案16件を審査

平成22年度の一般会計補正予算、特別会計補正予算、公営企業会計補正予算8件と平成23年度の一般会計予算、特別会計予算、公営企業会計予算8件を審査し、原案のとおり可決すべきものと決しました。

補正の主な質疑

Q 緊急雇用事業県補助金を他の事業に振替は。

A 事前に承認の事業が対象なので振替はできない。

Q 多目的運動場3035万円の減額理由は。

A 当初設計で、平成22年度予算計上後に、委託先である県の建設技術センターの設計単価等の積算に減額があったためです。

A 育成についてはジオパーク観察会等を通じて普及を図っている。経済効果は、地学団体研究会全国大会が下仁田で開催され400人が全国から集まりました。日本ジオパークの登録をもとに、地域おこしと地域連携が推進され効果が見込まれる。

Q 普通交付税の減額は。

A 平成22年度国勢調査人口8912人で算出で1億円の減額となったが急減補正措置があり、前年度対比4000万円の減です。

Q ジオパーク運営の内容は。

A 賃金・事務費等です。

Q ジオガイドの育成、設置の検討等を考える。

Q ガス会計は3年連続赤字予算かつ2年連続赤字決算となっているが、改善策を持っているのか。

A ①安全供給に配慮しつつ徹底した経費削減。

②適切な料金改定への取組。

③料金改定後の人事配置の検討等を考える。

視察報告

議運広報合同視察



2月1日～2日山梨県の昭和町、身延町へ視察を行った。昭和町では、議会改革について、町では、山梨学院大学と連携して、研修会や講習会を開催「学ぶ議会」「行動する議会」「改革・変革する議会」を柱に定期的に勉強会を進めている。また、地域に出かけ、住民と膝を交えた「井戸端会議」を開催、12月までに地域の意見をまとめ、新年度の予算に反映できるように政策提案を行っている。

予算委員会は設置していない。常任委員会での審査が減ってしまうため、決算のみ特別委員会を設ける。身延町では、昭和町同様、

3月、9月の定例会終了後、各地区や団体等の集会へ出かけて対話集会を開催し意見や要望を吸い上げている。

また、一般質問は、一問一答方式で、平均1時間位、質問回数は無制限だが関連質問は認めない。

両町とも広報が素晴らしく、何度も表彰された実績がある。紙面は見やすく、字数が少なく、飽きない紙面になっている。

経済常任委員会視察



重さは90トンあり、足の大きさだけでも、我々の身長よりはるかに大きく、圧倒されるものでありました。

2月15日と16日と静岡市へ視察に行ってきました。主目的は、静岡市内で開催されている静岡ホビーフェア会場内に設定された人気アニメ「ガンダム」の实物大の立像を見ることと、それが地域にどのような経済効果をもたらしている

か、調査することでした。今回、静岡市とガンダムの制作元バンダイ（静岡市内）が東京から移設したということですが、「ガンダム」像は、高さ18m（ビルの6階に相当）あり、鉄骨造りで、外装は全てFRP製であります。

設置移転費は2億5千万円かかり、これはすべて静岡市の予算で賄われ、毎日の警備、運営には100人から120人が携わり、この費用の4億6千万円は、国からの雇用創出事業を充当しているとのことでした。見学者は平日の少ない日で

千人以上、多い日は3万人以上の事もあるという。夏休み、冬休みは、四国、九州からの家族連れが多く、市内の旅館、ホテルへの経済効果は計り知れないという。人気アニメの想像を超える巨大模型出現ということで、圧倒的な集客を誇る事業でありました。下仁田町も何かこのようなものを視野に入れていかなければと感じてきました。

広域圏NEWS

富岡甘楽広域議会

定例会

本議会への提出案件は、母子生活支援施設条例の一部改正について、平成22年度補正予算について、平成23年度関係市町村の負担金の分割割合について、平成23年度予算について及び教育委員会委員の任命についての5議案が上程されました。

全議案とも慎重審議した結果、全会一致をもって原案のとおり可決されました。

なお、本年度の事業として、「地域医療再生計画」により現在七日市にある医師会休日診療所の二次救急病院との連携による救急診療機能の充実を図るため、休日診療所を富岡総合病院に隣接した場所に移転することも報告された承されました。

病院議会 定例会

条例案件

(3月4日)

専決処分と給与条例の一部改正及び職員の育児休業の一部改正条例を審議

全会一致で可決・承認

予算案件

(3月25日)

◆平成二十二年病院事業会計補正予算(第二号)

全会一致で可決

◆平成二十三年病院事業会計予算

全会一致で可決

主な内容

病院改築工事等の建設改良費が8億8575万円、その内訳として、建物8億3736万円、医療器械整備に対する器械備品費4839万円、企業債償還金9643万円などを見込んでいます。

また、病院建設事業が約3カ年にわたる予定であることから、平成24年度から25年度までの債務負担行為限度額を11億2300万円と定めました。

環境議会 定例会

甘楽西部環境衛生施設組合議会定例会が、3月3日と25日に開催された。

予算案件

◆平成22年度補正予算

全会一致で可決

◆平成23年度予算

全会一致で可決

主な内容

平成22年度補正予算は1383万円の減額について審議

平成23年度予算は、7億7969万円で、前年度対比166.6%の増額となっている。その主な要因は今年度から2カ年事業として実施される。ごみ焼却施設の改良計画であり今年度事業費が約4億円であります。

審議結果

下仁田町町営住宅設置条例	全会一致
町道路線の廃止について	全会一致
町道路線の認定について	全会一致
指定管理者の指定について	全会一致
財産の取得について	全会一致
平成22年度一般会計補正予算(第5号)	全会一致
平成22年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	全会一致
平成22年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	全会一致
平成22年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	全会一致
平成22年度簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	全会一致
平成22年度浄化槽整備事業特別会計補正予算(第3号)	全会一致
平成22年度水道事業会計補正予算(第2号)	全会一致
平成22年度ガス事業会計補正予算(第2号)	賛成多数
平成23年度一般会計予算	全会一致
平成23年度国民健康保険特別会計予算	全会一致
平成23年度後期高齢者医療特別会計予算	全会一致
平成23年度介護保険特別会計予算	全会一致
平成23年度簡易水道事業特別会計予算	全会一致
平成23年度浄化槽整備事業特別会計予算	全会一致
平成23年度水道事業会計予算	全会一致
平成23年度ガス事業会計予算	賛成多数

自治功勞で表彰

去る2月21日に開催された群馬県町村議会議長会総会で、岡田武二議員は、当選以来15年の長きにわたり、地方自治振興発展に尽力されたことが認められ、全国議会議長会自治功勞者表彰の榮譽に輝きました。今後とも一層のご活躍を期待いたします。



編集室から

東日本大震災により大災害に遭われた皆様方に、心からお見舞い申し上げます。大津波の恐ろしさをまざまざと見せつけられ、大勢の命が奪われてしまいました。あの震災を境に、今までよりも他人の痛みに敏感になり、涙もろくなりました。行方不明の人が、いまだに一万二千人余りもおられます。

お寄せ下さい。

広報発行特別委員会
委員長 矢嶋榮一
副委員長 三浦 勲
委員 原 秀男
岩崎正春
高瀬政信
佐藤勇二
田村憲司

表紙の説明

完成した多目的運動場で、高田繁野球解説者らを招いて開催された少年野球教室

今回は平成23年第1回定例会の主な内容について編集しました。内容については、分かりやすい編集を心がけておりますが、ご意見等をお寄せ下さい。

議会だより・会議録を
ホームページでご覧下さい。
<http://www.town.shimonita.lg.jp/>
問い合わせ先：電話82-2111
(内線610番)

